

横浜市スポーツ医科学センター

指定管理者選定評価委員会 報告書

令和7年8月

横浜市スポーツ医科学センターの指定管理者の選定にあたり、横浜市スポーツ医科学センター指定管理者選定評価委員会（以下「委員会」という。）は、申請要項、業務の基準、評価項目・基準を作成するとともに、申請団体から提出された申請書類の審査、プレゼンテーション及びヒアリング審査を行いました。

この度、指定候補者を選定しましたので、ここにその結果を報告します。

## 1 委員会における選定の手順

委員会では、申請団体から提出された書類の審査を行うとともに、プレゼンテーション及びヒアリング審査として、申請団体からの提案説明を受け、委員による質疑等を行いました。

その後、委員による意見交換、審議を経て各委員の採点を確定し、公益財団法人横浜市スポーツ協会を指定候補者として選定することの可否を審議しました。

## 2 選定結果

委員会において厳正な選定審査を行った結果、公益財団法人横浜市スポーツ協会を指定候補者として選定しました。

3 得点

横浜市スポーツ医科学センター指定管理者申請者採点集計表

項 目		評価点 (合計)
<b>1 総合的な基本方針・達成目標</b>		<b>44/50</b>
	指定管理者としての第5期基本方針・達成目標	44
<b>2 第5期事業計画</b>		<b>254/300</b>
	1 スポーツプログラムサービス（SPS）の実施体制	40
	2 診療体制	42
	3 SPS・診療以外の各種事業への取組	42
	4 スポーツ医科学を通じた各種連携・地域貢献事業	46
	5 研究活動	40
	6 指定管理者による新規提案事項	44
<b>3 職員配置・人材育成</b>		<b>130/150</b>
	1 職員の確保及び配置体制の考え方	42
	2 職員の人材育成への取組	44
	3 働き方改革に対する取組	44
<b>4 施設管理・運営体制</b>		<b>84/100</b>
	1 修繕・備品更新に対する取組及び計画	22
	2 建物・設備機器の維持保全並びに管理体制	21
	3 安心・安全に対する取組（防火防災・事故防止体制・緊急時の対応等）	20
	4 市民サービス、業務水準の向上への取組（利用者ニーズの把握・改善活動）	21
<b>5 コンプライアンス体制</b>		<b>65/75</b>
	1 個人情報保護に対する取組	22
	2 情報公開・人権尊重・環境への配慮に対する取組	21
	3 横浜市の重要施策を踏まえた取組（市内中小企業への優先発注等）	22
<b>6 第5期指定期間における収支計画</b>		<b>64/75</b>
	1 指定期間中の収支計画	21
	2 収入増に向けた取組	22
	3 コスト削減に向けた取組	21
<b>合 計</b>		<b>641/750</b>

※得点率 85.5% (641 点 ÷ 750 点)

#### 4 講評

委員会としての講評（評価コメント）は次のとおりです。

○これからも事故がないように点検や修繕などを実施していただきたい。

○「スポーツ医科学センター」という名称から、利用に踏み出せないという個人の方も多いのではないか。イベントや教室も実施していくと説明があったが、参加者の募集などに際しては利用者にとって分かりやすい案内を行っていただきたい。

○公共施設による事業であるため、単なる診療だけではなく、社会の多様性に応じていく必要がある。機械も発達しており、野球でいうとボールの回転まで分析できるなど、パフォーマンスを評価するいいものができている。スポーツに関する社会の多様性に応えるような策を練っていただきたい。

また、リハビリテーションにおける職員配置が理学療法士のみとなっているが、オリンピックやパラリンピックを見ても作業療法士でもスポーツ分野に関わっている人は多い。そういった状況も踏まえて、リハビリテーションにおける職種を整えていただきたい。

○令和5年度及び6年度については黒字となり、その黒字分を修繕や備品の購入に充てたということは指定管理という制度を十分に理解されており、横浜市の財政負担軽減に貢献しているという点についても評価したい。

○同一施設で同じ研究が続くということは極めて珍しいこと。財政的なバックアップを受けてその研究を実施しなければいけない立場にあるが、可能であれば医師だけではなく、技師や栄養士にも発表に出てもらい、会員の方や横浜市に研究の内容についてフィードバックをしていただきたい。SPSにおける体重の変化に関するデータについても、ただ並べるだけでなく、どういう人は体重が落ち、どういう人は体重が落ちにくいのかなどのデータを出すだけでもかなり違う。

また、幸いなことに、これまでにAEDを使用するような事故は発生していないとのことであったが、心停止が発生した際はAEDを使用しなくてはならないため、日頃からトレーニングを行うことが必要である。

## 5 選定の経過

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| (1) 第1回委員会        | 5月28日(水)             |
| (2) 申請団体決定のお知らせ   | 6月3日(火)              |
| (3) 申請書類に関する質問の受付 | 6月10日(火)から6月16日(月)まで |
| (4) 申請書類に関する質問の回答 | 6月23日(月)             |
| (5) 申請書類の受付期間     | 6月3日(火)から7月3日(木)まで   |
| (6) 第2回委員会        | 8月29日(金)             |

## 6 委員会の開催状況

### 第1回

議 題	1 委員長の選出 2 会議の公開について 3 申請要項について 4 業務の基準について 5 評価項目及び評価基準について
日 時	令和7年5月28日(水) 18時30分から19時25分まで
開催場所	横浜市庁舎18階共用会議室 なみき15
出席者	大野委員、沖野委員、河合委員、管生委員、高橋委員
決定事項	1 河合委員を委員長に選任した。 2 第1回は引き続き公開、第2回は非公開とした。 3 事務局から案を説明後、審議し、事務局案にて確定した。 4 事務局から案を説明後、審議し、事務局案にて確定した。 5 事務局から案を説明後、審議し、事務局案にて確定した。

### 第2回

議 題	1 プレゼンテーション 2 ヒアリング 3 採点 4 審査及び指定候補者選定 5 選定結果報告書
日 時	令和7年8月29日(金) 18時30分から20時00分まで
開催場所	横浜市スポーツ医科学センター 大研修室
出席者	河合委員長、大野委員、沖野委員、管生委員、高橋委員
決定事項	1 申請団体からのプレゼンテーションを行った。 2 委員から申請団体に対するヒアリングを行った。 3 各委員の採点結果を合計し、最終得点を決定した。 4 公益財団法人横浜市スポーツ協会を指定候補者とすることを決定した。 5 事務局から案を説明後、審議し、最終稿の原案は委員長に一任することとした。

## 7 横浜市スポーツ医科学センター指定管理者選定にあたっての評価項目及び配点

評価項目		内 容	配 点		採点の基準	
1 総合的な基本方針・達成目標			10点満点×1項目 ＝ 10点満点			
	指定管理者としての第5期基本方針・達成目標	スポーツ医科学センターの理念、設置意義に基づいて実現したいことなど	5	×2	10	5…センターの設置理念を十分に理解し、明確で特に優れた考え方が示されている 4…センターの設置理念を理解し、明確で優れた考え方が示されている 3…センターの設置理念をほぼ理解し、適切に考え方が示されている 2…センターの設置理念について理解に不足する点が見られ、考え方が明確・適切に示されていない点がある 1…センターの設置理念についての理解に欠け、考え方も不明確・不適切である
		サービス水準の向上、コストの削減、利用促進、危機管理、人材確保育成、クリニック及び他の各諸室施設の運営方法などに関する基本的な考え方など				
		施設の特徴を活かし、センターでどのような事業を展開するのか、事業実施の基本方針と体系、それらが生み出す効果など				
2 第5期事業計画			10点満点×6項目 ＝ 60点満点			
①	スポーツプログラムサービス（SPS）の実施体制	スポーツプログラムサービスの具体的な実施方法、実施体制、利用料金、効果など	5	×2	60	5…計画内容が特に優れており、具体性及び実現性も大いに認められる 4…計画内容が優れており、具体性及び実現性が認められる 3…計画の具体性及び実現性がほぼ認められる 2…計画は具体性に欠ける点があり、実現性を認めにくい 1…計画は具体性に欠ける点が多く、実現性を認められない
②	診療体制	疾病予防及び積極的治療へのスポーツの具体的な活用方法、実施体制など	5			
③	SPS・診療以外の各種事業への取組	SPS・診療以外の市民の健康づくりを進めるための考え方と具体的事業内容、利用料金、効果など	5			
④	スポーツ医科学を通した各種連携・地域貢献事業	スポーツ振興や市民の健康増進への具体的な貢献策、競技力向上に向けた具体的な事業内容、効果など	5			
⑤	研究活動	スポーツ指導者の養成、スポーツ医科学に関する研究、情報の収集・提供など、その他センターで実施する事業の考え方と具体的事業内容、効果など	5			
⑥	指定管理者による新規提案事項	第5期指定期間に新規に行う具体的な事業内容及びその考え方、効果など	5			
3 職員配置・人材育成			10点満点×3項目 ＝ 30点満点			
①	職員の確保及び配置体制の考え方	センターに配置するスタッフの職種及び資格、人員配置、雇用形態、責任者の配置など	5	×2	30	5…特に優れた考え方と具体策が明確に示され、実現性が大いに認められる 4…優れた考え方と具体策が示され、実現性が認められる 3…考え方と具体策が示され、実現性がほぼ認められる 2…考え方と具体策に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい 1…考え方と具体策に抽象的な・不明確な点が多く、実現性を認められない
②	職員の人材育成への取組	求められるスキルとその育成策、職種別キャリア形成プランなど	5			
③	働き方改革に対する取組	長時間労働の抑制、有給休暇の取得など	5			
4 施設管理・運営体制			5点満点×4項目 ＝ 20点満点			
①	修繕・備品更新に対する取組及び計画	設備の修繕、高額医療機器等の備品の更新に関する考え方及び具体的な計画など	5	×1	20	5…特に優れた考え方と具体策が明確に示され、実現性が大いに認められる 4…優れた考え方と具体策が示され、実現性が認められる 3…考え方と具体策が示され、実現性がほぼ認められる 2…考え方と具体策に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい 1…考え方と具体策に抽象的な・不明確な点が多く、実現性を認められない
②	建物・設備機器の維持保全並びに管理体制	保守・点検等の適切な実施など	5			
③	安心・安全に対する取組（防火防災・事故防止体制・緊急時の対応等）	安全な医療の確保、緊急時の対応、リスク回避についての具体的計画など	5			
④	市民サービス、業務水準の向上への取組（利用者ニーズの把握・改善活動）	市民サービスのあり方、業務水準の向上、施設のPR、利用促進策、モニタリング等についての具体的計画など	5			
5 コンプライアンス体制			5点満点×3項目 ＝ 15点満点			
①	個人情報保護に対する取組	個人情報保護の考え方及び具体的な取組など	5	×1	15	5…特に優れた考え方と具体策が明確に示され、実現性が大いに認められる 4…優れた考え方と具体策が示され、実現性が認められる 3…考え方と具体策が示され、実現性がほぼ認められる 2…考え方と具体策に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい 1…考え方と具体策に抽象的な・不明確な点が多く、実現性を認められない
②	情報公開・人権尊重・環境への配慮に対する取組	情報公開、人権尊重及び環境への配慮に対する考え方及び具体的な取組など	5			
③	横浜市の重要施策を踏まえた取組	市内中小企業への優先発注、男女共同参画推進等の横浜市の重要施策を踏まえた取組など	5			
6 第5期指定期間における収支計画			5点満点×3項目 ＝ 15点満点			
①	指定期間中の収支計画	令和8年度から令和12年度までの指定管理経費（維持管理運営費-施設運営収入）の考え方、目標及び年次計画	5	×1	15	5…特に優れた考え方と具体策が明確に示され、実現性が大いに認められる 4…優れた考え方と具体策が示され、実現性が認められる 3…考え方と具体策が示され、実現性がほぼ認められる 2…考え方と具体策に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい 1…考え方と具体策に抽象的な・不明確な点が多く、実現性を認められない
②	収入増に向けた取組	利用料金を中心とした収入増を実現するための具体的方策及び年次計画	5			
③	コスト削減に向けた取組	コスト削減、効率的運営のための具体的方策及び年次計画	5			
計					150	

8 横浜市スポーツ医科学センター指定管理者選定委員会委員（50 音順・敬称略）

氏 名	所 属 等
大野 和子	横浜市保健活動推進委員 都筑区会長
沖野 智子	公認会計士
◎河合 祥雄	順天堂大学名誉教授
管生 直樹	港北区スポーツ推進委員連絡協議会 会長
高橋 正明	元 群馬パース大学リハビリテーション学部理学療法学科 教授

◎…委員長